



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 6日 金曜日	試合コード	58
開催地 (都道府県名)	熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	JPN	35	前半	18
17-8				
後半				
18-10				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
7m c				
—				
—				
Japan				China

戦況	見出し	JPNが大差でCHNを破り3勝2敗で予選を終える
	前半	予選最終試合のJPN-CHN戦は、CHNのスローオフで試合開始。JPNは6-ODFでしっかり守り、センターから25のカットインシュートで先制する。2分30秒にはFBからRW20が決めリードを広げる。RB4のステップシュートも豪快に突き刺さり、FBで20,18と立て続けに得点し、5分29秒JPN5-0CHNとなったところで、CHNがタイムアウト。CHNはLW34や大型PV29でチャンスをつくるが、CHN7が退場してる間にLW18が決め、さらにGK30と20がエンピティゴールを決めて、10分24秒JPN9-0CHNとなり、CHNは早くも2回目のタイムアウト。12分37秒にCHN34が7mTを決めて、CHNは初得点をあげ、続けてRW3もゴールして9-2と追いつける。中盤の15分を過ぎてJPN10-3CHNと、完全にJPNのペースでゲームは進む。17分過ぎRB4のカットインで7mTを獲得したJPNは、27が確実に決めて12-4と8点差にする。JPNは退場者を出す、LW13のスカイプレーなどで得点し、20分には14-5とする。21分過ぎからCB81を投入したJPNは、DFも3-2-1DFにシフトチェンジして突き放しにかかる。24分過ぎにはJPN41が7mTを決め、16-6と点差は10点になる。残り3分を切つて、CHN15のカットインが決まるが、JPN41もすぐに取り返す。JPN17-8CHNの9点差で前半を折り返す。
後半	リードしているJPNのスローオフで後半30分が開始。CHN10が退場し、RW20が先制のゴールで18-10と10点差とする。JPN3のPVシュート、GK30のファインセーブ、RW20の技ありのシュートでJPN20-8CHNと勢いが増す。CHN退場の間にカットイン、エンピティゴールで23-10とリードを広げる。RW4のフェイントからカットインに対して、またCHNは退場者を出す。12分過ぎにはRW20が、この試合8点目をあげてJPN25-10CHNとなる。16分過ぎに速攻から得た7mTをJPN25が確実に決め27-12とする。チャンスを作るもGK30に阻止され、JPNの速攻が立て続けに決まって29-13となる。20分過ぎには、CHN15の中央からのスカイプレーで得点し30-14になる。JPNはCB81で展開が早くなり、24分過ぎにはRB15の得点で32-16とダブルスコアとなる。残り5分を切つて、JPN3のPVシュートで7mTを獲得し、41が決め34-17で終盤を迎える。お互い1点ずつ加え、JPN35-18CHNでゲーム終了。	



戦況作成者	中野 靖士
-------	-------

